

## 令和3年度 看護師職能I委員会 活動報告

### ■委員名

委員長：丸山美津子

副委員長：櫛原良枝

委員：貞小由里 鈴木洋子 井上弥生 田川早苗 高濱和美 住吉良恵  
川井正子 田中奈緒子 関滝江 船木淳 桐畑裕美子

### ■活動目標

1. 地域包括ケアの充実に向けた連携・協働を推進する。
  - 1) 看護管理者の訪問看護ステーション研修体制の構築
  - 2) 看護管理者のネットワーク構築に向けた支援
2. 医療機関における COVID-19対策の課題を抽出する。

### ■委員会開催状況と検討内容

回	開催日	出席者	内容
1	令和3年4月16日 (オンライン併用)	12名	・令和3年度活動計画・職能集会・交流会・支部活動について ・令和2年度活動報告まとめ
2	令和3年5月15日 (オンライン併用) 職能I・II合同会議	11名	・令和3年度看護師職能集会準備 (役割分担、アンケート内容検討)
3	令和3年7月3日 (オンライン併用)	12名	・令和3年度委員紹介(構成員と所属部署) ・令和3年度委員会活動計画について確認
4	令和3年8月20日	13名	・全国職能委員長会議報告 ・保健師助産師看護師交流会(9/18)役割分担 ・看護師職能活動：支部委員会参加報告
5	令和3年9月18日 三職能合同交流会	13名	・保健師助産師看護師支部合同交流会及び評価 ・看護師職能I・II同交流会(10/16)について
6	令和3年10月16日 職能I・II合同交流会	13名	・看護師職能I・II交流会評価
7	令和3年11月19日	10名	・近畿地区職能委員長会議報告 ・看護管理者研修、COVID-19アンケート検討
8	令和3年12月17日	11名	・令和4年度看護職能I委員会活動計画検討 ・看護管理者研修、COVID-19アンケート検討
9	令和4年1月21日 (メール会議)	13名	・令和3年度看護職能I委員会活動報告まとめ ・令和4年度看護職能委員会活動計画検討
10	令和4年2月18日	中止	・令和4年度看護職能委員会活動計画検討 ・令和4年度看護師職能集会打ち合わせ、資料作成 ・令和4年度看護職能I・II・支部合同交流会検討
11	令和4年3月18日 (オンライン併用)	11名	・令和3年度看護職能I委員会活動報告最終確認 ・令和4年度看護職能委員会活動計画最終確認 ・全国職能委員長会議報告、情報交換 ・看護管理者研修、COVID-19アンケート検討

<p>■活動内容</p>	<p>1. 保健師助産師看護師職能集会  日 時：令和3年6月17日 9：30～12：00  場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン配信）  内 容：令和2年度看護師職能Ⅰ・Ⅱ活動報告  令和3年度看護師職能Ⅰ・Ⅱ活動計画  基調講演  テーマ：「バカボンのパパに学ぶ苦悩の人間学  ～大事にしたいコミュニケーション～」  講 師：京都大学大学院人間・環境学研究科 佐藤泰子 氏</p> <p>2. 保健師助産師看護師合同交流会  日 時：令和3年9月18日 13：30～16：30（会場）  令和3年11月15日～11月30日（オンデマンド）  場 所：兵庫県看護協会会館（オンデマンド併用）  内 容：看護職間の連携・協働のこれから～地域で取り組むwith コロナ～  講 演：1. 兵庫県の保健師活動と役割について  講師：兵庫県健康福祉部健康局健康増進課 山下久美 氏  2. 診療看護師（NP）としての地域での活動で見えてきたもの  ～看護の力で重症化予防～  講師：糖尿病ケアサポートセンターオフィス代表 中山法子 氏</p> <p>3. 看護師職能委員会ⅠⅡ合同交流会  日 時：令和3年10月16日 13：30～16：30  場 所：兵庫県看護協会会館（オンライン併用）  参加者：76名（オンライン52名）  内 容：対象者の意思決定支援を支えるための切れ目ない看護の展開をどう実現するか～地域包括ケアの場における意思決定支援の現状と課題から考える～  パネリスト：小川かおり 氏（兵庫県立西宮病院 地域医療連携課）  高島博子 氏（緑丘・瑞穂地域包括支援センター）  中嶋久子 氏（清和会訪問看護ステーションそよかぜ）  佐野和子 氏（ABC訪問看護ステーション）</p> <p>4. 看護管理者実地研修を企画し、ネットワーク構築を図る。</p> <p>5. 医療機関における COVID-19対策を看護管理者連携の視点で整理し、今後の課題を抽出する。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>地域連携を強化・充実させるために、職能集会は「顔の見える」関係づくりと議論を目的に三職能合同で開催し、さらに感染状況を鑑みハイブリッド式とした。保健師10名、助産師15名、看護師101名、准看護師1名、そのほか15名（会場48名、オンライン84名）の総勢132名の参加があった。コロナ禍で各々の職種が頑張ってきた一年を振り返り、その活動内容と課題についてフリーディスカッションを行った。参加者からは「保健所の現状が知れて良かった。情報共有し、協力できるようにしていきたい。」「保健所や介護との連携の重要性、地域での連携強化が必要」「三職能合同の会議やディスカッションは相互理解と労い、活動意欲につながると思う」との意見があった。次に三職能合同交流会では改めて保健師の活動についての理解と地域での連携のありようを保健師とNP・糖尿病CNの方に、ご講演いただいた。地域住民の方の生活習慣、疾病予防活動を見る視点が保健師と看護師では違うことに改めて気づかされた。地域住民の方を、あらゆる方向から支援していくためにも連携を推進し強化する必要性を感じてもらえたのではないと思う。会員に向けてはオンデマンド配信を行ったが、広報不足からか24名の参加にとどまった。視聴者からのアンケートでは「お互いの役割の理解と情報共有、関係作りが必要」との意見があり、地域連携推進は「相互理解、情報共有、関係構築が基盤」との発信は、確実に届いたと確信した。今後に向けては、地域包括ケアの充実に向けた連携・協働を図るため看護管理者の訪問看護研修を企画中である。また、医療機関における COVID-19への対応を振り返り、看護管理者連携の視点で課題抽出に取り組んでいる。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>地域包括ケアシステム推進に向けた看護管理者の育成</p>